



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和6年4月号(第1号)
令和6年4月8日発行

【学校教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

喜んで登校 満足して下校

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

ときわ ときわ われらの学園 (校歌の一節より)

校長 藤田 昌一

令和6年度、新しい春が訪れました。進級・入学した子どもたちは、大きな期待をもって新たな1年の学校生活をスタートさせたことと思います。

さて、三島公夫校長先生の後任として、本校の校長に着任いたしました藤田昌一(ふじた まさいち)と申します。私、平成2年に初任者教員として常盤小学校に着任し、平成7年の3月まで勤務をしておりました。3年生の担任に始まり、その翌年は、常盤北小学校が分離しました。それから、4年生～6年生の担任、体育主任として運動委員会の指導や、バスケットボール大会、水泳大会、サッカー大会など、各種スポーツ大会の指導等を行っておりましたので、もしかしたら覚えていてくださる方がいらっしゃるかもしれません。駆け出しの教員として汗を流した、この歴史と伝統のある常盤小学校に、29年ぶりに赴任できたことを大変光栄に感じると同時に、その重責に身の引き締まる思いであります。

*

赴任してすぐの職員会議で、本校の教職員に「子どもにとって、学校はどんなところ？」と投げかけました。様々な考えが出されましたが、大まかにまとめると次の通りです。

学校は勉強をするところ

学校生活のほとんどの時間が授業です。「分かった、できた、伸びた、もっと知りたい、もっとやってみたい」など、子どもたちが自信をもち、意欲を高めるようにしていきたいと思えます。これは、教師側から見ると「学習指導」に当たります。

学校は友達と仲よくするところ

勉強や運動が得意な子どもばかりとは限りません。しかし、「友達と遊ぶのが楽しく休み時間が待ち遠しい、仲間がたくさんいて励ましてもらえる」など、人間関係が良好であれば、学校は楽しいはず。これは、教師側から見ると「生徒指導」に当たります。

これらの前提として、**学校は安心して安全なところ**でなくてはなりません。これは、教師側から見ると、「健康、安全、給食等の指導」に当たります。

これらの結果として、次に示す本校の合言葉につながっていくものと考えます。

喜んで登校(出勤)、満足して下校(退勤) * ()は教職員

教職員一同、子どもたち一人ひとりが、将来の夢に向かって豊かに成長していけるよう努めてまいります。本年度も、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援ご協力を心よりお願いいたします。